

週末はデイサービスに泊ろう！！

社会福祉法人サン・ビジョン
デイサービスセンター第2 グレイスフル春日井
サークル名：泊まってちょ！
発表者：本部 まり子 PC操作：大嶋忠勝

1、事業所紹介

デイサービスセンター第2 グレイスフル春日井は平成14年9月に開所し、現在は介護予防を含む一般型が35名、認知症型が12名で運営を行っております。

2、サークル紹介

構成人数	8名	過去のQC活動件数	1回
現メンバーでの活動歴	10ヶ月	構成メンバーの職種	所長、リーダー 相談員、介護職
平均年齢	29.6歳		
月当たりの会合回数	1～2回	主な活動時間	業務時間外

3、テーマ選定理由

私たちのデイサービスは日曜日の営業を始めて4年が経ちますが、日曜日を利用される方がなかなか定着しませんでした。実は本当はもっと多くの方が日曜日を利用したいと思っているのではないだろうか。このような疑問から、利用者様、ご家族の本当のニーズを見つけ出し、それに応えたいと思い、今回のテーマを選定致しました。

本テーマの活動期間：10ヶ月 本テーマの会合回数：13回
会合時間：1回平均1.5～2時間

4、今回の活動に関する施設長のコメント

<活動が与えた施設への効果>

- ・利用者様、ご家族のニーズに応え、施設を十分に理解して頂けるテーマであった。
- ・職員の自信や信頼関係に繋がりがよかった。

<サークルに一言>

- ・今後も利用者様一人一人が生活に潤いを感じ、生き生きと生活できるよう、デイサービスとして提供できるサービスを、チームで考え、取り組んで行けるようになってほしい。

5、テーマ選定

	緊急性	重要性	コスト	現実性	数値化	評価	順位
日曜日にご利用して頂こう	◎	◎	○	◎	◎	23	1
レクリエーションを充実させよう	○	○	△	◎	△	13	4
食べこぼしを減らそう	△	◎	◎	○	○	17	3
トイレの環境を整えよう	○	○	△	◎	△	13	4
パット内の排尿を減らそう	△	◎	○	◎	◎	19	2

◎⇒5点 ○⇒3点 △⇒1点

< H18.12.10 / 作成者：大嶋忠勝 >

6、活動計画

計画 → 実行 →

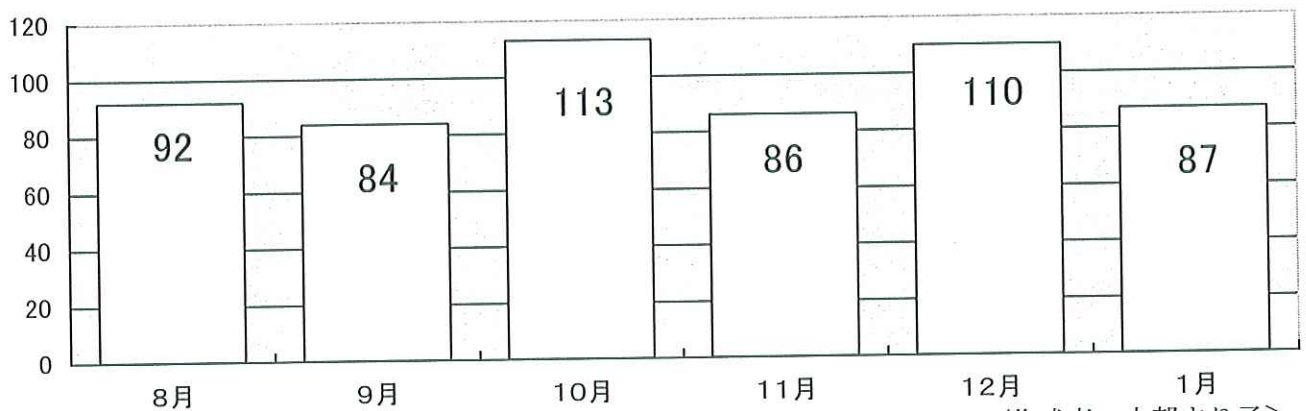
項目	担当	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
テーマ選定	全員	→									
現状把握	本部・大嶋	→									
目標設定	本部		→								
要因解析	全員		→								
対策立案・実施	全員			→	→	→	→	→	→	→	→
効果の確認	全員										→
歯止め・まとめ	本部・大嶋										→

< H18.12.15 / 作成者：大嶋忠勝 >

7、現状把握

現状把握①

平成18年8月～平成19年1月の日曜日の月別延べ利用者数を調べました。



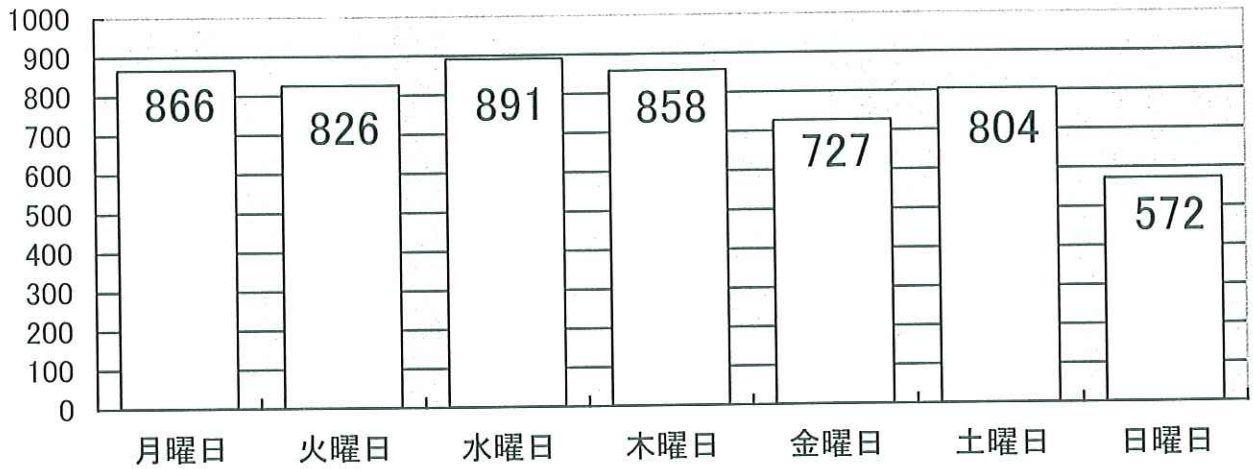
統計より平成18年8月～平成19年1月の日曜日の

< H18.12.26 / 作成者：本部まり子 >

一日平均稼働率は22名、平均稼働率は49.9%と分かりました。

現状把握②

他の曜日と日曜日の利用者数を把握する為に、平成18年8月～平成19年1月の曜日別の利用者数を調べました。



<H18.12.26/作成者：本部まり子>

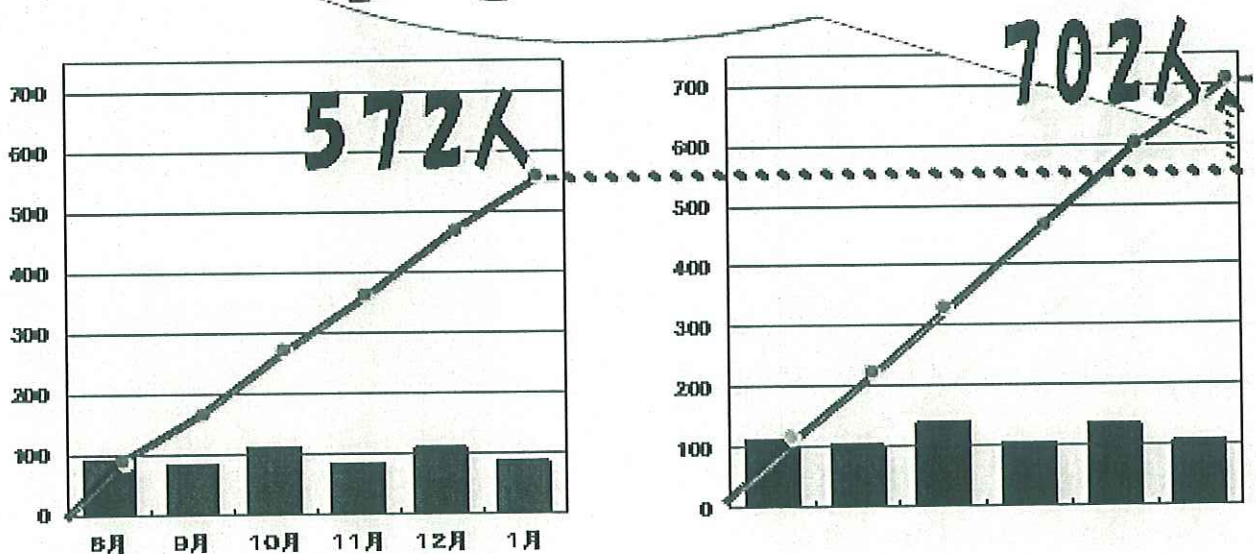
グラフより日曜日だけが他の曜日に比べて、圧倒的に利用者数が少ない事が分かりました。

8、目標設定

現状把握①②を踏まえて、平成19年3月～8月の期間で日曜日の利用者数を23%アップさせることを目標としました。

(延べ利用者数572名から702名に、一日平均5名アップ)

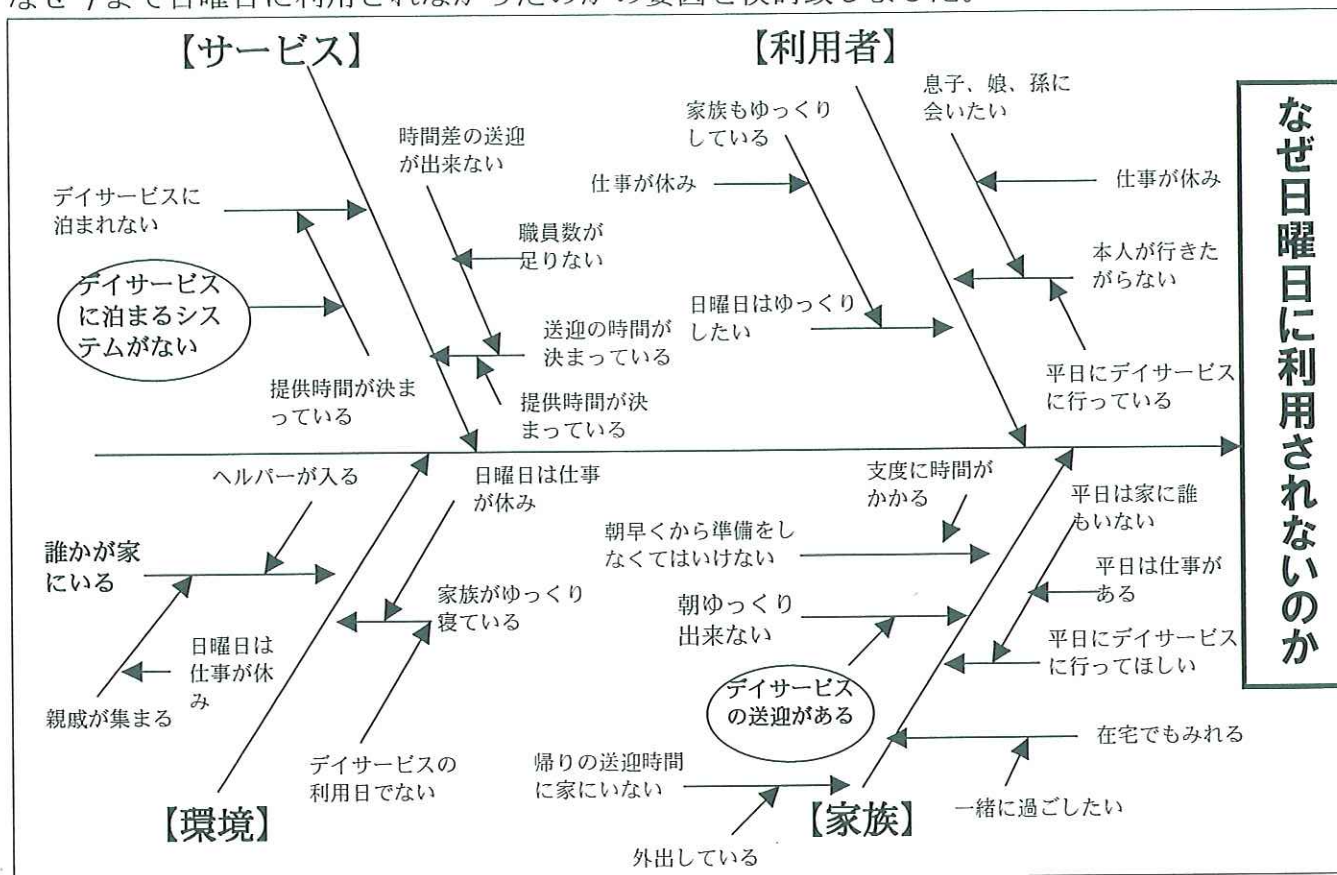
目標 23%UP



<H19.1.13/作成者：本部まり子>

9、要因解析①

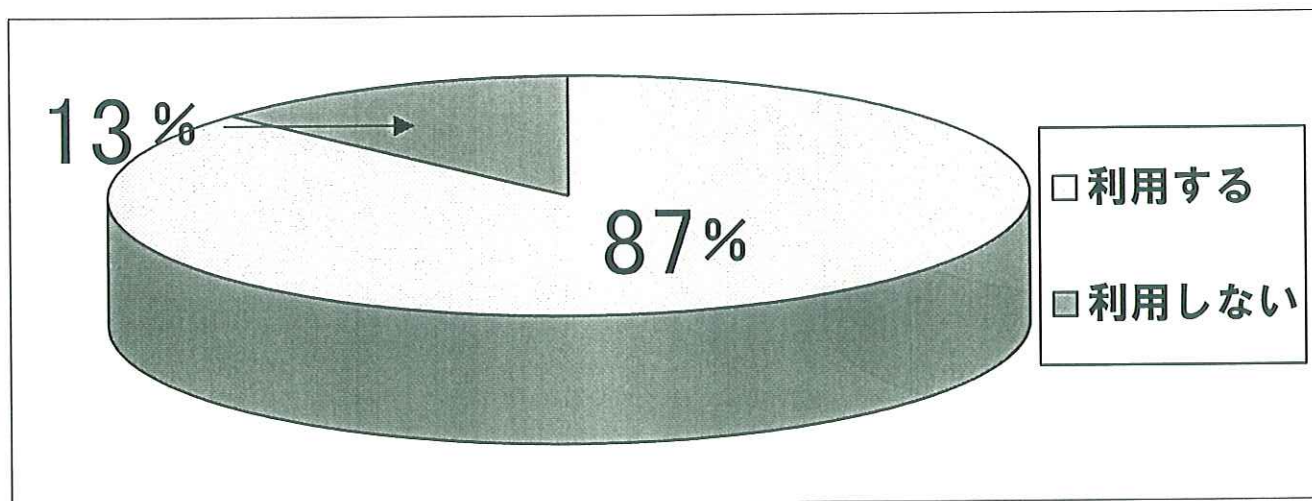
なぜ今まで日曜日に利用されなかったのかの要因を検討致しました。



<H19.2.5/作成者：岡田章広>

10、対策立案①

「もし週末にデイサービスに泊まることが出来るなら利用しますか」というアンケートを実施。



<H19.2.5/作成者：竹内奈津子>

アンケートの中には

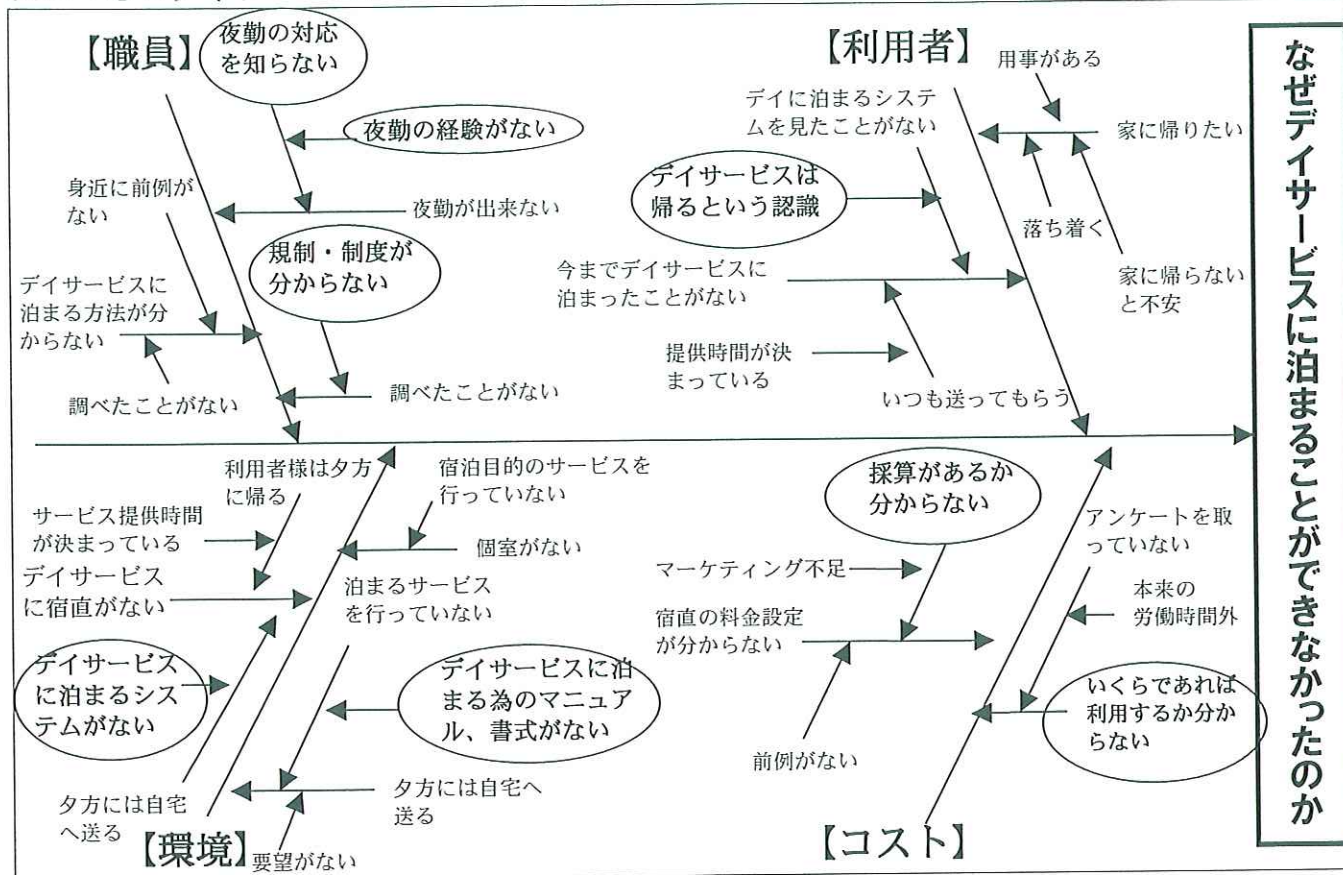
「デイさんに泊まれるなら安心」や「ぜひ（お泊りデイを）やってほしい」などの声が聞かれました。

このアンケートより

「デイサービスに泊まれるなら日曜日でも利用したい」と考えていることが分かりました。

1 1、要因解析②

次に「なぜデイサービスに泊まることができなかつたのか」についての要因を検討致しました。



<H19.2.5/作成者：岡田章広>

1 2、対策立案②

要因解析図②よりデイサービスに泊まることができなかつた問題の対策をまとめました。

問題点	いつ	どこで	誰が	何を	どうする
制度が分からない	12/10	市役所・県庁	所長	規定・制度	確認する
採算があるか分からない	12/13	経営活動支出	所長	利用人数、料金、宿直費	積算する
デイサービスに泊まるシステムがない	12/15、23、29	お泊りデイミーティング	お泊りデイプロジェクトメンバー	業務の見直し、お泊りデイ実施計画	検討、シュミレーションする
いくらであれば利用するか分からない	12/20～1/10	アンケート	家族・利用者	いくらならお泊りデイを利用するか	アンケートを取る
お泊りデイのマニュアル、書式がない	12/20～1/15	お泊りデイミーティング	お泊りデイプロジェクトメンバー	マニュアル、各種書類	検討、作成
夜勤の対応、方法を知らない	1/20	お泊りデイミーティング	夜勤経験者	夜勤時の対応や注意点	シュミレーション、勉強会を行う
デイサービスに泊まるという認識がない	1/20～2/10	案内書、デイ新聞	所長、新聞作成者	お泊りデイの告知用紙とQ&A	作成配布しご家族、事業所にPRする

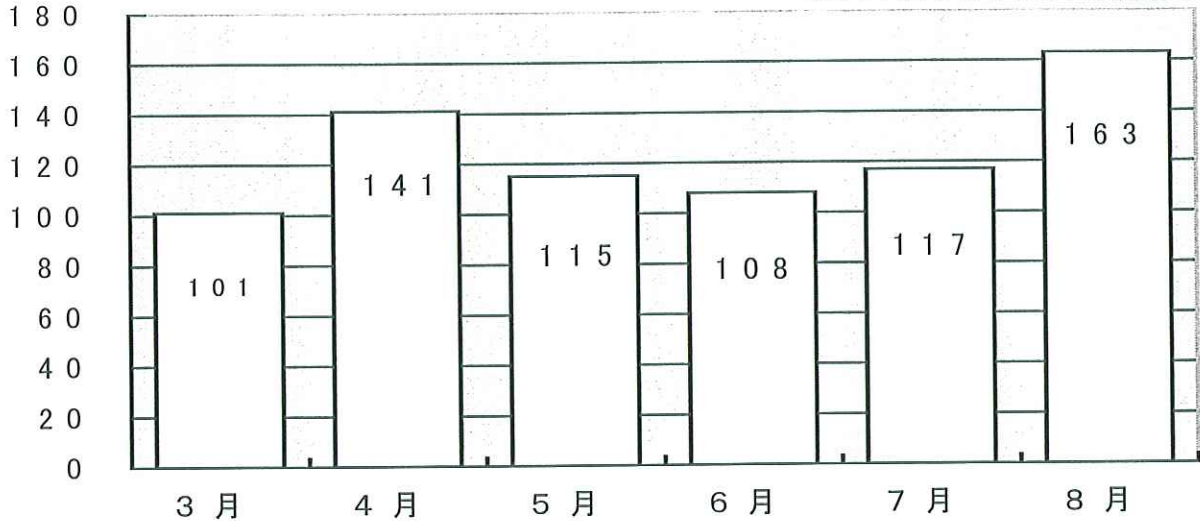
<H19.2.13/作成者：本部まり子>

⇒ 以上の対策を実施し、平成19年2月16日（金）にお泊りデイを開始致しました。

13、効果の確認

お泊りデイ実施後（平成19年3月～8月）の各月の日曜日の利用者数をグラフにしました。

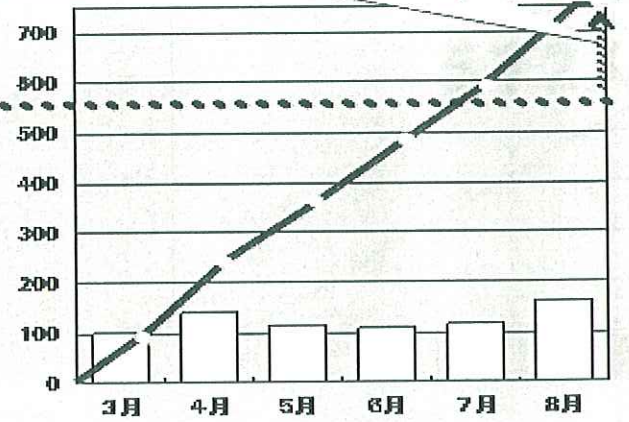
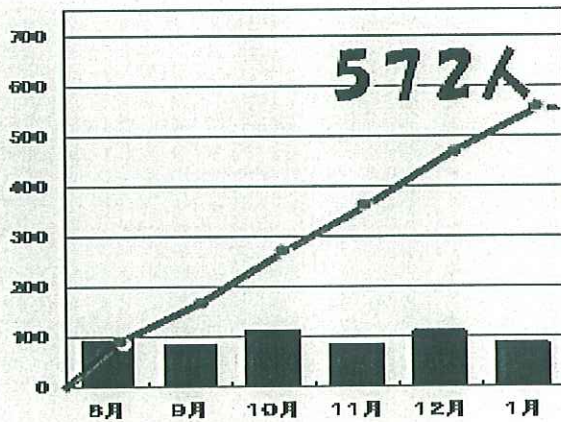
<H19.9.13/作成者：大嶋忠勝>



グラフより日曜日の一日の平均利用人数が27.9名（5.9名アップ）、
平均稼働率が62.7%（13.3%アップ）となりました。

お泊りデイ実施前後の日曜日の延べ利用者数をパレート図で比較しました。

30%UP!!



<H19.9.13/作成者：大嶋忠勝>

☆目標の23%アップを大幅に上回り30%アップし、目標達成致しました☆

14、波及効果

- ① 利用者様の夜間の様子を知ることにより、デイサービスでのケアが夜間も意識した対応になりました。
- ② ご家族の大変さを知り、ご家族との信頼やコミュニケーションが深まりました。
- ③ 夜間を一緒に過ごすことにより利用者様との新たな信頼関係を築くことが出来ました。
- ④ 宿直者の日中の業務負担を減らそうと配慮するなど職員間の連携、絆が深まりました。
- ⑤ お泊りデイを目的とした新規の利用者様が増加いたしました。夜勤経験のないデイサービス職員が一から新たな取り組みを始めたことが、職員の自信に繋がりました。

15、歯止め

項目	いつ	どこで	誰が	何を	どうする
スケジュール調整	依頼時	提供表・お泊りデイスケジュール表	所長・リーダー	多くの利用者様に利用して頂けるように	スケジュール調整を行う。
情報共有	宿直明け	申し送り用紙	宿直者	夜間の様子や注意点	記入し、口頭でも申し送る。
宿直者の育成	随時	マニュアル・シュミレーション	宿直経験者	新たな宿直者	育成し、職員全員で取り組む。
PR活動	スケジュールに空きがある時	電話や案内書	所長	スケジュールの空き状況	事業所やご家族にPRしていく。
改善①	新たなニーズや問題が発生した時	お泊りデイミーティング	お泊りデイプロジェクトチーム	検討会を	迅速に開催する。
改善②	3ヶ月おきに	お泊りデイミーティング	お泊りデイプロジェクトチーム	マニュアル	見直し、確認を行う。

<H19.9.20/作成者：本部まり子>

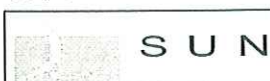
16、反省とまとめ

	良かった点	反省点
テーマの選定	以前から取り組みたい課題に取り組むことができた	
現状把握	曜日別や、月別など多角度から把握ができた	今回の分析以外にも別の角度からの把握ができればよかった。
目標設定	実現可能な目標設定であった為、職員のモチベーションの向上に繋がった。	より深くマーケティングを行い、細かい目標値を出せるとよかった。
要因解析	利用者様、ご家族のニーズをメンバー全員で見つけ出す事ができた。	より多角的な解析ができればよかった。
対策立案と実施	お泊りデイに向けて職員全員で取り組むことができた。	帰宅願望がある方への対応の検討などをより深く行えればよかった。
効果の確認	利用者さま、ご家族から「デイさんに泊まれるから助かるわ」との声を頂き、効果を実感できた。	現状把握同様、より多くの角度から分析ができればよかった。
歯止め	利用者様の情報交換なども職員同士積極的に行い、夜間の対応に自信がついた。	宿直者以外の職員の意識向上が必要。

<H19.9.23/作成者：竹内奈津子>

17、今後の課題

このお泊りデイには定員に限りがある為（一泊3名）、今後は、新たなニーズを見つけ出し、それに応えて行く必要があります。利用者様やご家族は、思っているニーズをそのまま私たちにぶつけて下さる訳ではありません。私たちは本当のニーズを積極的に探し、それに応える必要があります。その、沈黙のニーズを見つけ出しそれに応えることが出来たとき、初めて本当の笑顔を見ることができると考えています。そして、その目標に向けて、チームが団結し同じ気持ちになれた時、職員の質が本当に向上するのだと思います。



デイサービスセンター
第2グレイスフル春日井

社会福祉法人 サン・ビジョン

QCサークル 泊まってちよ!